

1	審議会名	真田地域協議会
2	日 時	平成25年11月13日(水) 午後7時00分から午後9時00分まで
3	会 場	真田地域自治センター3階 301会議室
4	出席者	一之瀬勤委員、内海美香委員、小林満子委員、関貞徳委員、田中新平委員 長崎伊登子委員、半田榮範委員、古市正明委員、堀内朝子委員、松木節子委員 丸山進委員、柳沢章夫委員、山口市江委員、山口佳子委員、山宮浩美委員 横沢憲治委員 【欠席委員】4名
5	市側出席者	高橋センター長、藤沢地域振興課長、西澤市民生活課長、若林健康福祉課長 滝澤産業観光課長、中山建設課長、佐藤上下水道課長、柳沢教育事務所長 佐藤消防署長、滝沢地域政策係長、林主査、西澤主査
6	公開・非公開等の別	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7	傍聴者	0人 記者 0人
8	会議概要作成年月日	平成25年11月18日
協 議 事 項 等		
1	開 会	(関副会長)
2	会長あいさつ	(半田会長) 昨日には初雪も降り、急に寒くなったので健康管理に御留意願いたい。本日も先般に引き続き協議を進めていただきたい。
3	センター長あいさつ	(高橋センター長) 何点か報告をさせていただく。今月3・4日にはゆきむら夢工房で恒例の新そばまつりが行われ多くの皆様に訪れていただいた。翌週9・10日には姉妹都市の九度山町で行われた大収穫祭に上田産、真田産のリンゴを持参して販売し大変な歓待を受けた。また、10・11日には東京真田町の会の皆さん21名がふるさと訪問で真田を訪れ、傍陽小や真田図書館を見学されたほか、リンゴ狩りやゆきむら夢工房での蕎麦打ち体験を楽しんで帰られた。今月30日・12月1日には竹室・下郷沢の各活性化組合、新鮮市で野沢菜まつりが開催され、いよいよ年末が近く、冬本番の到来を感じている。
4	会議事項(進行:半田会長)	(1) 真田地域自治センター課の目標中間報告 (会長) 各課長から説明願います。 ～資料に基づき各課長から報告・説明～ (会長) 各課長からの説明に質問等ありますか。 (委員) 菅平高原スポーツランド指定管理についての進捗状況はどうか。 (滝澤産業観光課長) 条例の改正と指定管理者の検討、一般市民の利用促進を含めて検討中である。 (委員) 今のところ業務移行という指針は出ていないということか。 (滝澤産業観光課長) 現状では、そこまで行き着いていない。 (委員) 一般市民の皆さんの利用度を含めて検討するという事は、今後具体的な話し合いがあるものと思うが、年度内にどのように進めるのか。 (滝澤産業観光課長) 年度内に全てが整うかは不透明である。内容を詰めながら目途をつけていきたい。 (会長) 地域づくり委員会のなかで、自治会長とは別に地域づくり委員長職設置を検討とあるが詳細に説明願いたい。

(藤沢地域振興課長) 地域内分権に向けての住民自治組織の設立に関連して、地域づくり委員会の機能の強化、継続性を持ち行うという中で、現在は各自治会の自治会長が中心となっているが、各自治会も単年度で役職が換わるなかで継続性が持てないのではないかと、複数年度にわたり、役を務めていただける組織づくりを構築していくことが、目標に掲げた新たな組織案の作成である。各自治会の事情もある中で、全く新しい組織を作るのでは無く、役員の構成に工夫をしていただく、あるいは併用することを検討している。各地域づくり委員会で地域の課題を検討する位置付けであるので、今後は別組織でなくとも、それに準じた形で組織を設置して各自治会の地域づくり委員会、地域の課題解決に向けた組織づくりをしていければということである。

(会長) 新たな組織案の作成が11月となっているが、新たな組織の中での委員長職のことと思うが、新たな組織についてはどのような状況か。

(藤沢地域振興課長) 地域内分権の関係に全て関わるが、その前段で組織のあり方を検討することは、地域内分権について地域協議会においても内容が分かりづらいと指摘があるなかで、現在、市民参加・協働推進課で検討を進めており、その結果が出なければ実際にこの新たな住民自治組織の検討には入れない状況であるので、担当課で方向性を検討しており、その方針が出たところで具体的に提示できるものと思う。

(会長) 地域内分権との関連は当然だが、地域づくり委員会の組織と地域協議会とはどのように考えるのか。

(藤沢地域振興課長) 各自治会における課題を出していただき、地域の中で課題に取り組んでいただく組織が今後の地域づくり委員会であるが、地域協議会で住民自治組織のあり方についての指針が示された中で、真田地域ではどのような住民自治組織のあり方が良いかの検討・協議を地域協議会と真田地域自治会連絡会議で協議したい。

(会長) 地域協議会で話をすること自体が、地域づくり委員会から持ち上がってきた内容を吸い上げながらやることではないかと感じる。ところが今の動きを見ると、地域づくり委員会自体は各自治会を通じて各地域でそれぞれ説明会をしながら組織を立ち上げようとしているが、その内容が協議会では全く繋がっておらず、協議会だけが単独で動いている気がする。其々でやっているの、この辺りが上手く全体の中でまとまらず関連付けが薄いと思う。地域内分権についての説明を市民参加・協働推進課で固めた後でなければ進まないということであれば、地域協議会も地域づくり委員会も同様であり議論しにくい感じを受ける。今後、進める際に地域協議会も地域づくり委員会と同じように組織自体を検討する必要があるのではないかととも思う。

(副会長) 本来この協議会に投げかけられた部分が見えにくいので分かりにくい、地域づくり委員会のほうは最終目標としては新たな組織の案の作成であるが、地域協議会の動きの組織が見えないので様子を見るということであれば地域協議会で新たな組織をどうするか、ある程度方向性が出たところで集中して議論することと思う。

(会長) 今まで各地域づくり委員会は、各自治会で地域の色々な課題を吸い上げて行政に要望等を出し、各課の説明を受けた中で要望がされてきている、その中から地域協議会としてはどのようにしていくかが捉えにくい、今後しっかりと見据えていきたいと考える。

(委員) 地域振興課で有線放送のあり方を検討しているが、光ファイバー網の整備なども進むなかで、有線放送の継続あるいは廃止など将来的な方向性は見えているのか。

(藤沢地域振興課長) 平成20年度に審議会を設置し、21年度に現行設備を継続するという答申と、状況等により随時審議会を設置し検討するとの附帯意見をいただいている。当時と現在を比較すると機器の老朽化と利用者の減少という二つの問題が生じている。機器は平成2年に更

新し 23 年が経過、現行の設備を全く同じに更新することは機器が無く不可能になっている。利用者の減少については毎年 50 名から 60 名が脱退しており加入率が落ち込んでいる。企業決算としては現在は健全であり毎年剰余金を繰り越しているが、加入者の減少との兼ね合いを見ると 6 年後に収支が赤字になると想定される。有線放送は、通信機能としての役割は終えており加入者の増加要因は考えにくいものの、地域における情報発信の手段として大切なものであると考える。継続あるいは廃止を考えるよりも先々を見越してどうあるべきかということを審議会に諮問して審議いただきたいと考えている。

(委員) おくやみの放送をはじめとした地域の話から市長の市政方針演説までが聞けるものは他には無く、文化の熟度が高いものではないかと思う。

(会長) 生活に密着した地域の連絡事項には欠かせないものであり必要性を感じる。
その他には何かありますか。

【質疑・意見等】

- ・ 特になし

(2) 分科会協議

(会長) 全体会は以上とし、各分科会に分かれて引き続き協議を進めていただきたい。

(3) その他

(会長) 分科会協議終了後、分科会ごとに解散となりますので各委員から何かありますか。

- ・ 特になし

5 その他

第 9 回協議会の開催予定について

(副会長) 次回の協議会の日程について、12 月 11 日水曜日午後 7 時から予定していますが、いかがでしょうか。

【質疑・意見等】

- ・ 特になし

【決定事項】

- ・ 第 9 回真田地域協議会の開催は、平成 25 年 12 月 11 日（水）午後 7 時～

(副会長) 行政からの連絡事項を願いたい。

(中山建設課長) 真田地域公共交通利用促進協議会の上田市功労者表彰まちづくり表彰の受賞について

～受賞の報告と授賞式や他の受賞団体について説明～

(滝沢地域政策係長) 地域協議会委員への事務連絡等について

～地域自治センターだより さなだの記事について、上田市議会が主催する議会報告会の御礼等、12 月 11 日の協議会内容について説明～

6 開 会

～各分科会に分かれ協議。第 1 分科会 301 会議室、第 2 分科会 302 会議室

第 3 分科会 303 会議室～

～各分科会毎に閉会～